学校番号 C2101　桃谷（通）　　令和2年度 家庭科

科目名 ： ライフスタイル	単位数 ： 2 単位	必要スクーリング出席回数： 4 回
使用教科書 ：なし		
学習書 ・副読本 ：2020年版 くらしの豆知識 （国民生活センター）		

	年間総数	１範囲	２範囲	３範囲
レポート [R]	6 枚	2 枚	2 枚	2 枚
スクーリング [S]	8 回	3 回	2 回	3 回
テスト [T]	2 回	○	×	○
その他 （課題・実習等）				

1 担当者からのメッセージ（学習方法等アドバイス）

日常生活における「身近な消費者教育」をテーマにさまざまな消費者トラブルの対策に役立つ知識と情報を提供します。

2 学習の到達目標

生活に関わる様々な身近な事例に触れ、よりよい生活のために必要な情報や知識を修得させる。現代社会で生きていくための知識と技術を身に着け、自らの生活を主体的に考えるとともに、消費者トラブル対策の手段を実行に移す実践的な態度と能力を育てる。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b ：思考・判断・表現	c ：技能	d ：知識・理解
観点の趣旨	消費者教育について関心をもち、自らの生活における消費者トラブルについての情報収集や解決法について意欲と態度を身につけている。	インターネットを利用したサービスや技術など現代社会におけるさまざまな課題を見いだし、思考を深め、適切に判断し、行動する能力を身に付けている。	消費者トラブルに関心を持ち、常に新しい情報や法律を吸収し、それらを理解するだけでなく実行に移すことができる技術を身に付けている。	ニュースや新聞などから最新の情報や法律、規則などの知識を身に付け、それを発信できている。
評価方法	・記述の点検（レポート）	・観察（スクーリング） ・記述の点検（レポート）	・記述の確認及び分析（レポート） ・観察（スクーリング） ・定期考査	・記述の確認及び分析（レポート） ・定期考査

・学年末に５段階で評価する。

4 学習の活動

学期	単元名	学 習 内 容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1範囲	よくわかる契約	・契約について ・解約について ・クーリング・オフについて	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a ：契約や解約について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b ：契約（解約）について、課題を見つけ、その解決をめざして考え、表現している。 c ：契約したものの解約及び支払った代金の返金方法が正確に作成するために必要な基礎的な知識を身に付けている。 d:契約の仕組みと未成年者の契約や判断力の不十分な人の契約について理解することができる。	・レポート ・演習課題 ・定期考査
2範囲	暮らしの豆知識	・ひとり立ちを応援消費生活ナビ ・災害に備える	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a ：暮らしの基礎的な情報に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:地震や風水害など、正しい知識について学び、災害に備える方法についても理解する。 c ：クレジットカードやスマホ決済の基本的な知識やその支払い方に関心をもち、意欲的に取り組むことができる。 d:これから生徒に起こりうるリスクの高い問題をテーマにして、その解決方法を理解し、取り組むことができる。	・レポート ・演習課題
3範囲	生活設計と保険	・お金の運用 ・我が家の保険 ・セカンドライフ	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a ：お金の運用や金融商品について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b ：ライフステージにおいて保険内容の課題を見つけ出すことができる。 c ：年金や定年退職後の健康保険など法律や社会保険制度について理解することができる。 d:保険ショップの利用や高額賠償に備える保険について考え、自ら解決することができる。	・レポート ・演習課題 ・定期考査

※ 表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：技能　　d：知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。